（定價二錢）　（郵便報知可）

時事新報

時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙なり

第千九百三號

明治廿一年四月廿三日　月曜日
奮戊子三月十三日（甲子）

出午前五時五十九分　入午後七時二十分
月出午後二時四十八分
入午前二時四十分
干潮　午前十時二十七分　午後三時四十七分
（西暦一千八百八十八年）

時事新報定價
時事新報は一年三百六十五日一日も休刊せず其代價送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
〇二重三重前金大割
〇時事新報社より直接に郵便にて送達スルモノは毎月二十六日ノ發送時ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五行以内	一行と付	一行二付	一行二付
一行至十行	一日限	二日以上	七日以上
百一行至百十行	十銭	十五銭	十六銭
百十一行以上	八銭	七銭二厘	六銭八厘
	九銭	七銭	六銭
	八銭	六銭五厘	五銭九厘五毛
		五銭八厘五毛	五銭五厘

時事新報

時事

日本の美術及び衣服　ドクトルセメンズ原文の翻譯　日本人民に備はる美術の心と題は世界に雙び少なき高等のものなりとは今日文明諸國人の共に許す所にして開化の進歩に於て日本の人を東洋人種の上に推したるも畢竟唯その一事に外ならず凡そ美術の美を知りて之を好びのみ又た手づから模造製作して天然の物に由り一種巧妙の品を作り出すべきほどに風韻の高き人民は野蠻の域を去ること甚だ遠きものあり此種の人民は其風俗必ず優美にして隣人に接するに禮儀厚く朋友に交るに情誼深くして其社會と成すや秩序の齊整せざるおし是れ即ち日本出色の性質にして文明の人と未開の民とを區別するに著しきものは正に此邊の如何に在て存し此の如き人民を稱して文明と云ふ其文明い所謂歐洲の文明ゑ比して種類ゑと異なれども精神に於て譲る所おきのみならず却て上品あるものありと云ふ可し西洋の文明は專ら盜賊の働化と示し弱肉強食を常となし傍近の小國と征服して獣慾を遂ふし其目的は我地を廣め我富を增すに在るみとなれば一人若しくは小勢にては迚も切取と呼ばるゝ處のものを唯仕掛を大にしたるゑ過ぎざるのみ日本の文明は全く之に異なり極めて優美殊勝なるものにして其人民の美術の心と嗜の高き若し程度はどちらは幾分事實の徴すべきなきに非ず抑も日本人民の手に成りたる美術は品なりと云へば文明世界ゑて頗る珍重せられ歐洲にても米國にても多少賞翫ある民家ゑは其室内を飾るに日本出來の美術品と用ゐざるものは幾ばくと稀にして許多の人民は其家の飾餘に日本美術の風と學ばんとするもの許りなる其中にて猶ほも一層驚くべきい西洋の文明國にて博物館抔は美術會にい到る處日本美術の品を陳列せざるいなく其れと陳列すれば必ず會場の最も目立つ處を撰び普く衆人の縱覽に供して模範を示その一事にまて日本出來の美術品に模倣するの勢は年々歩を進ひるゑとなれども其獨製したる者は常に本元なる日本の良品に劣るゆゑなれば日本は美術中心の一として普く文明世界の人民の美術と支配し其心と嗜の上ゑ容易ならざる勢力を現へて末流の美術國人を薫陶しつゝありとは皆人の許して疑はさる所なり然るに歐米の人の一たび日本ゑ來遊して其文明開化の實を知らんとすれば豈に計らん日本人の多くい皆自から稱えて未開なり野蠻なりと云ひ尚ほ其上に文明世界の本國に居りては當ゑ稱賛するのみならず手を攜へ品と繙へて一圖に模倣なゑ居る所の美術の品は悉く之を放棄して顧るおきを見ては驚の外ある可らず甚しきゑ及んでは家内裝飾の爲めに高等の品に千金を投じて買求むるものさへあれば皆其意外の事に驚かざるはなし然れども今日とありては幾分か沫露と排きて發明する所あるが如く今まで外人に賣りて西洋諸國に送り出したる其手を扣へて最も名作なる美術の品を保存し殊に古代諸家の繪畫を惜むに至りたるは余の知る所なれども此事さへ躬自から發心せしには非ず外客、其人の盡力と助言とに出でたるみそ可笑しけれ先きに日本人民が自から我に美術の美なるものあるを知らず只管外國の美術を慕ひ善きも惡しきも要用なりや經濟なりや其邊の考は一切不問に措くが如く餘り目のおきの所爲にして殆んど兒戲に類せるは誠に氣の毒なりとて外人より注意したるに茲に始めて其美術の世に比類少なくものなることと知り得たるおある可しと思はるゝおり

（未完）

雜報

○香港政廳の歳入　昨年香港政廳の歳入總額い百四十二萬七千四百八十五弗餘ゑして千八百八十六年度の歳入額に超過する事五萬九千五百八弗餘なり又昨年の歳出費用は一百二十七萬八千百八十五弗餘なりとよし

○支那囚徒の一習慣　支那の獄に年久しく幽囚せられし罪人は獄中に於て甚だ有力ゑして新囚人に對し金錢と強取するの習にて若し之に抵抗する者あれば暴力を以て懲戒せるを常とす先頃或省の監獄にて舊囚徒新たに入牢せる囚人に向ひ三百弗の金を要求したるに新囚徒い之と拒絶せしに予舊囚徒大ゑ怒りて亂撃を試みけり斯くて新囚徒の友人は右の報を聞き朋友の不幸と懸み典獄に委細の事情を報告し至當の所刑あらん事を願たるに舊囚徒忽ち之を探知し新囚徒の朋友の牢獄ゑ來ると待ち受け牢内に拽入れて殘酷なる笞刑ゑ處し ゑる上獄中に抑留せり典獄は新囚徒を呼出し事實の詮索をあらんとすれども舊囚徒之と留めて放さず却て典獄に向ひ讒謗罵詈を極め戸と閉ぢて獄吏の入るを禁ぜざれば典獄も今は詮方なく道臺に事情を具陳し道臺より三十人の勇敢なる捕吏と使はし舊囚徒と談判の上僅に新囚徒の朋友と奪ひ還へせしよし近着の英字新聞ゑ見えたり

○清國洪水の餘波　黄河洪水後人民悲慘の境に沈みし有樣は毎度本紙上ゑ掲載せし事なるが近着の支那タイムスに依れば洪水のため人民の困難せるゑも拘らず一方にては氾濫水を以て各地方に溜池を生せし故鼠賊し增加し農民は皆耕作の代りに漁獵に從事し食糧とその餘を賣りて利益を得るもの多きよし

○羅馬賊人の亂暴　伊太利國羅馬府に於て職人共の許して樂はさる所なり然るに歐米の人の一たび日本ゑ來遊して其文明開化の實を知らんとすれば豈に計らん日本人の多くい皆自から稱えて未開なり野蠻なりと云ひ尚ほ其上に文明世界の本國に居りては當ゑ稱賛するのみならず手を攜へ品と繙へて一圖に模倣なゑ居る所の美術の品は悉く之を放棄して顧るおきを見ては驚の外ある可らず甚しきゑ及んでは家内裝飾の爲めに高等の品に千金を投じて買求むるものさへあれば皆其意外の事に驚かざるはなし然れども今日とありては幾分か沫露と排きて發明する所あるが如く今まで外人に賣りて西洋諸國に送り出したる其手を扣へて最も名作なる美術の品を保存し殊に古代諸家の繪畫を惜むに至りたるは余の知る所なれども此事さへ躬自から發心せしには非ず外客、其人の盡力と助言とに出でたるみそ可笑しけれ先きに日本人民が自から我に美術の美なるものあるを知らず只管外國の美術を慕ひ善きも惡しきも要用なりや經濟なりや其邊の考は一切不問に措くが如く餘り目のおきの所爲にして殆んど兒戲に類せるは誠に氣の毒なりとて外人より注意したるに茲に始めて其美術の世に比類少なくものなることと知り得たるおある可しと思はるゝおり

（未完）

士を派出し之が鎮靜に從事せし先爲めに捕縛せられしもの多かりし云々と近着の報に見ゆ

○酒田港の商況　羽後酒田港い消雪後水陸交通の道開らけ輸出入の貨物漸々頻繁なる有樣にて商業は餘程活潑の色を顯はし一般の人氣も爲めに幾分か引直りし樣子なりと同地よりの近報に見ゆ

○奈良の商況　名勝古蹟に富み繁華の聲籠に遠し小京都とも稱すべき大和の奈良は當奈良縣の頃ゑい戸數殆んど一萬に達し商賈も可なり繁盛せしも慶應以後戸口次第に減少し終に五千戸計となり市中何となく物寂しかりしも先頃當縣の擧ありしより退ぞ戸口繁殖の樣子あるも各商家い再繁華を圖當に物價と引上ゆ現に之を大坂と比すれば一割内外の差ある程なるを以て少しく高價の買物い態々大坂に赴きて購ふ傾きあり且つ近頃は大坂への道路も餘程改良せしを以て大に往復の便を增したれば大坂行も容易おりといふ左れば何となく商業は不振の色ありと以て税所同縣知事平田區長等も種々之が救濟の策を計畫し居る由又た同地の春日公園を改修して完美ならしめんみとにも盡力し市民も亦奮ふて之に從事せり且つ同地の有志者中には商工談話會の如きものと起ち商工業上の利害を討究して商業振起の策を講せんとの相談もある由なり

○京都通信　四月十六日發　府會議員撰擧會取消の訴訟　大具武市氏より杉浦上京區長に係る同取消事件の公判は本日其第一回の開廷ありしも被告は代理人をも出さず唯答辨書を差出せしのみおる由にて第二回の公判は不日開廷するよし

府立商業學校　同校は區部地方税の支辨に屬するとなるが先般來有志者の同校建築費中へ寄附するもの頗る多きを以て今度愈々建築することに決せしが區部會の議決を經ざれば着手する能はざるを以て本月下旬に同會と開く筈なるよし

貧民黨　昨十五日當地にて自由主義を執る人々が發起者となり同黨組織の事を協議する爲め將軍塚上に集會しさるに會する者數十名もありたる由今該黨の主眼なりと云ふを聞くに敢て共產黨の如き主義にあらず唯不義の利不當の財を集むる者の我黨を退せしめざるにあるものなりといふ

○馬關通信　四月十五日發　山尾子　山尾顧問官は本月八日郷里秋穂へ赴きしが昨十四日再び當地に着して入江町松尾寅三方へ投宿せしかば當市の有志者數十名は稻荷町劇場ゑ招き饗應を爲せり猶同氏は明十六日當地出發帰京の途ゑ付く由

地盤測量　當港の正面に在る放石地盤測量の爲め大坂土木監督署より一名の技師出張せしが測量器械不足なりとて目下中止せりといふ

鹽人の測量　當港鹽飯蟹に付測量の爲め本月廿六七日の頃鹽人デレーケ氏來關するよし云ふ

○岡山通信　四月十六日發

紡績會社へ下賜　岡山紡績會社は創立の際、政府より三萬二千圓の金額を借受けしが幸年十二月大藏卿へ上申し依り迚も辨償の目算立たざるを以て其事情を大藏へ上申したる處此程燒殘り建物を賣却し其金高四千餘圓を上納せしめ殘の金額を殘り二萬八千餘圓は同社へ下賜の旨達せられ社員の喜び一方ならず夢ゑ云ふ

產出米　當縣下の產出米は其實能く外人の嗜好に適し且つ路年來米作改良法を行ひてより益々其聲價と高め

近來海外への輸出の便と計り玄米の出の便と計り玄米の器械を購入ゑ其場二百餘坪の地

縣廳と學校の電話　縣内ゑ移ゑてより由にて今度縣廳話器を設け置ゑ

種痘の勸誘　當各町村の醫者は

養蠶傳習所　此山、備中上房郡

したれは孰れも

○高松通信　四

養蠶事業の奬勵　事業奬勵の爲め反歩の地面へ桑

二反歩を山田香

監獄の教育　三日間午後一時

を教授せる由

○福岡通信　四

縣廳大改革　去

轉任あり警察の

（警部或警部補）

廳庶務、會計、學

課にて非職十一

吏）免職十二名

免職二名（郡書記

員免職二十二名

兒玉大佐　同大

本を出發し同八

は安場知事より

廣嶋へ向ひ同地

金子堅太郎氏　一

察の爲め去る九

陸路小倉ゑ出で

塩し馬關よりの

伊藤博三氏　博

信管理局へ轉任

已の諸氏い本日

り

中學生徒の行軍　上百六十名餘）

軍劇撃演習とな

屯田兵檢査　當

と執行し檢査官

着せり

○當山通信　四

無行の增殖　當

主の強制勸誘と

郡を增加し都合

林業試驗場の株

計一萬株とし其

に應じて

株なく